

サーバ等更新等に係る要求仕様書

一般財団法人日本燃焼機器検査協会

I サーバ等更新等に係る概要

1. 現在、一般財団法人日本燃焼機器検査協会（以下「協会」という。）大船本部A館2階に設置するサーバ4台のうち基幹業務システムサーバを除くサーバ3台、UPS3台及びルーター1台の撤去作業並びに新たに導入するサーバ等の調達・設置作業
2. サーバ用の各種ソフトの調達、インストール作業、設定作業、データ移行作業及びデータ消去作業
3. バックアップ機器（ソフト）、セキュリティ機器（ソフト）、ウイルス対策ソフト等の調達、インストール作業及び設定作業
4. その他ネットワーク並びにサーバの運用及び故障に係る保守サービス

II 更新等内容

1. サーバ機

- (1) サーバ機の形状及び納入台数は、次のとおりとする。

ア 形状 ラックマウント型

イ 納入台数 2台

- (2) サーバ機の用途等は、次表のとおりとする。

更新対象	現 行		更 新 後
	サーバ名	用途	
○	Jhias01	ActiveDirectory サーバ (以下「AD1 サーバ」という。)	ActiveDirectory サーバ (以下「AD1 サーバ」という。)
○	Jhias09	ActiveDirectory サーバ ファイルサーバ (以下「AD2・File サーバ」という。)	ActiveDirectory サーバ ファイルサーバ (以下「AD2・File サーバ」という。)
○	NICHINEN _SRV01	ファイルサーバ	
×	kkssv	基幹業務システムサーバ	基幹業務システムサーバ

※ Jhias09 サーバと NICHINEN_SRV01 サーバは統合する。

- (3) サーバ機の構成、性能等は次のとおりとする。なお、サーバの製造メーカーは、すべて同一メーカーとすること。

ア 大船本部

(ア) AD1 サーバ

- ① サーバ機は、原則としてH P E 製、L e n o v o 製、N E C 製、富士通製又は日立製のいずれかとする。
- ② 参考機種（富士通製サーバ及びUPS）及びその仕様並びにソフトウェア、ライセンス及びハード保守については、次表に掲げるとおりとする。なお、提案する機種は、当

該参考機種と同等又はそれ以上の品質及び機能を有する機種であること。

仕 様 内 容	数量
PRIMERGY RX1330 M6 ラックベースユニット (2.5インチHDD/SSD×8/400W電源×1)	1
Windows Server 2025 Standard(16コア) ダウングレードサービス付き Windows Server 2022 Standard インストール	1
Xeon プロセッサ 6325P(3.50GHz/4コア/12MB)×1	1
メモリ-16GB(16GB 4800 UDIMM×1)	2
RAID設定サービス(RAID1)	1
ベイ追加オプション(3.5インチストレージ×4)	1
内蔵 2.5 インチ SAS HDD-300GB(10krpm)	3
内蔵DVD-ROMユニット(Ultra Slim)	1
SASアレイコントローラカード(PRAID CP500i) (8ポート/SAS 12Gbps)	1
リモートマネジメントコントローラアップグレード	1
セキュリティチップ	1
電源ケーブル(AC100V対応/3m) (NEMA 5-15P準拠)	1
ServerView Suite DVD(Tools) & ドキュメント	1
KVMケーブル (USB・3m) (現行のKVMスイッチ: PY-KVFA04)	1
ラックレールキット	1
高機能無停電電源装置(Smart-UPS SMT 1200RMJ)	1
PowerChute Serial Shutdown for Business v1.3	1
SupportDeskパック Standard PRIMERGY 5年 ラックサーバー	1
SupportDesk Standard(Windows Server Standard)5年	1
SupportDeskパック Standard PRIMERGY 周辺機 5年 UPS	1

(イ) AD2・Fileサーバ

- ① サーバ機は、原則としてHPE製、Lenovo製、NEC製、富士通製又は日立製のいずれかとする。
- ② 参考機種(富士通製サーバ及びUPS)及びその仕様並びにソフトウェア、ライセンス及び保守については、次表に掲げるとおりとする。なお、提案する機種は、当該参考機種と同等又はそれ以上の品質及び機能を有する機種であること。

仕 様 内 容	数量
PRIMERGY TX1330 M6 ラックベースユニット (2.5インチHDD/SSD×8/400W電源×1)	1
Windows Server 2025 Standard(16コア) ダウングレードサービス付き Windows Server 2022 Standard インストール	1
Windows Server 2025 10 User CAL	3
Xeon プロセッサ 6325P(3.50GHz/4コア/12MB)×1	1
メモリ-16GB(16GB 4800 UDIMM×1)	2
RAID設定サービス(RAID5)	1

仕 様 内 容	数 量
ベイ追加オプション(3.5インチストレージ×4)	1
内蔵2.5インチケージ付きSAS HDD-1.2TB(10krpm)	4
内蔵DVD-ROMユニット(Ultra Slim)	1
SASアレイコントローラカード(PRAID CP500i) (8ポート/SAS 12Gbps)	1
セキュリティチップ	1
リモートマネジメントコントローラアップグレード	1
電源ケーブル(AC100V対応/3m) (NEMA 5-15P準拠)	1
ServerView Suite DVD(Tools) & ドキュメント	1
KVMケーブル (USB・3m) (現行のKVMスイッチ：PY-KVFA04)	1
ラックレールキット	1
高機能無停電電源装置(Smart-UPS SMT 1500RMJ)	1
PowerChute Serial Shutdown for Business v1.3	1
SupportDeskパック Standard PRIMERGY 5年 ラックサーバー	1
SupportDesk Standard(Windows Server Standard)5年	1
SupportDeskパック Standard PRIMERGY 周辺機 5年 UPS	1

(ウ) その他共通要求事項

- ① 納入するサーバは、現行の富士通製ラック装置（19インチラック モデル2724 /型名：19R-272A2）に収納・設置が可能なこと。また、現行のディスプレイ及び切替スイッチその他既存機器等の流用が可能なこと。なお、既存機器等の流用が難しい場合は、必要な機器等を調達すること。
- ② サーバの騒音値は、35dB（A）程度とすること。

(4) 構築・設定作業等

ア サーバの据付設置、ソフトウェアのインストール及び各種設定を行うこと。

イ AD2・Fileサーバのファイルデータを保存するドライブについて、3TB分の領域を確保する措置を講ずること。

ウ 現行ファイルサーバ内のデータ移行作業、ActiveDirectory 移行作業その他必要に応じて現行のサーバ環境の移行作業を行うこと。なお、現行サーバ内のデータ容量は、以下のとおりである。

Jhias01 (AD1サーバ)：60GB程度

Jhias09 (AD2・Fileサーバ)：1850GB程度

NICHINEN_SRV01 (ファイルサーバ)：100GB程度

エ AD1サーバとAD2・FileサーバのActiveDirectory 環境の同期を図ること。

オ ハードディスクの故障に備え、RAIDを構築すること。なお、具体的な構成等については、別途打ち合わせとする。

カ シャットダウンスケジュールの設定を行うこと。なお、具体的なスケジュールについては、別途打ち合わせとする。

キ シャドーコピーの設定を行うこと。なお、具体的な設定内容については、別途打ち合わせとする。

ク メモリーその他機器のグレードアップに係る部品等については、すべてメーカー純正品（同一メーカー部品）であり、かつ、保守対応が可能な部品等であること。

ケ その他サーバの設定等について本仕様書に定めのない事項及び疑義がある事項については、別途打ち合わせの上作業を行うこと。

2. サーバデータのバックアップ

(1) バックアップ用のNAS又はサーバ（以下「BU装置」という。）及びLTOドライブ又はRDXドライブの調達・設置及び設定作業を行うこと。

(2) サーバデータのバックアップ（サーバ更新対象外のkkssvのデータを含む。）の方法は、以下のいずれかとする。なお、現行サーバ内のデータ容量は、以下のとおりである。

Jhias01（AD1サーバ）：60GB程度

Jhias09（AD2・Fileサーバ）：1850GB程度

NICHINEN_SRV01（ファイルサーバ）：100GB程度

kkssv（基幹業務システムサーバ）：190GB程度

ア 各サーバからBU装置に一旦バックアップを行った後、さらに当該BU装置内のサーバデータをLTOドライブ又はRDXドライブにバックアップを行う方法。なお、LTOドライブ又はRDXドライブにバックアップされたデータは、イミュータブルデータとすること。

イ 各サーバからNASでイミュータブルバックアップを行うとともに、各サーバからLTOドライブ又はRDXドライブに通常のバックアップを行う方法

(3) 各サーバからBU装置にバックアップを行う際のバックアップソフトの仕様は、次表のとおりとする。

仕 様 内 容	数量
Arcserve UDP 10 Advanced Edition - Server	3

(4) BU装置からLTOドライブにバックアップを行う際のバックアップソフトの仕様は、次表のとおりとする。

仕 様 内 容	数量
Arcserve Backup 19.0 for Windows Base with Disaster Recovery Option 又は Arcserve UDP 10.x Premium Edition - Socket	1

(5) BU装置からRDXドライブにバックアップを行う際のバックアップソフトの仕様は、次表のとおりとする。

仕 様 内 容	数量
Arcserve UDP 10 Advanced Edition - Server	1

(6) 各サーバからLTOドライブにバックアップを行う際のバックアップソフトの仕様は、次表のとおりとする。

仕 様 内 容	数量
Arcserve Backup 19.0 for Windows Base with Disaster Recovery Option 又は Arcserve UDP 10.x Premium Edition - Socket	3

(7) バックアップスケジュール等は、別途打ち合わせとするが、原則として以下に掲げるバックアップスケジュールの設定が可能な製品であること。

<参考> ① Jhias01、Jhias09 及び kkssv の現状のバックアップスケジュール

月曜日から金曜日のデータのバックアップをそれぞれ行い、翌週以降は当該各曜日のデータをそれぞれ上書きする。

② NICHINEN_SRV01

月曜日から金曜日及び原則として毎月 10 日のデータのバックアップをそれぞれ行い、翌週以降は当該各曜日又は当該 10 日のデータをそれぞれ上書きする。

(8) バックアップ運用方針の変更、不具合等に対応できるよう運用保守サポートを受けることができること。また、運用保守サポートの窓口及び提供は、落札者のサポート担当とすること。

(9) その他バックアップの設定について本仕様書に定めのない事項及び疑義がある事項については、別途打ち合わせの上作業を行うこと。

3. セキュリティ機器

(1) セキュリティ機器として、UTM及びセキュリティスイッチングHUBの調達、設置及び設定を行うこと。

(2) UTM及びセキュリティスイッチングHUBの仕様は、次のとおりとする。なお、参考機種は次表のとおりとし、提案する機種は、当該参考機種と同等又はそれ以上の品質及び機能を有する機種であり、出張修理が可能なメーカーの製品であること。

セキュリティ機器	仕 様 内 容	数 量
UTM	FortiGate 製品	1
セキュリティHUB	SubGate SG2512GX-0	1

(3) UTM (FortiGate 製品) の機能として、アンチウイルス機能、アンチスパム機能、不正侵入防止 (IPS) 機能、Web フィルタリング機能、アプリケーション制御機能、アンチボットネットワーク機能及びクラウドサンドボックス機能を有していること。

(4) UTM (FortiGate 製品) は、ネットワークに接続するパソコン、タブレット及びスマートフォン (以下「パソコン等」という。) の総数及び想定される最大同時接続台数に見合った適正な機種とすること。

接続するパソコン等の総数：80 台程度

想定される最大同時接続台数：48 台程度

(5) セキュリティポリシーの変更、機器の不具合等に対応できるよう運用保守サポートを受けることができること。また、運用保守サポートの窓口及び提供は、落札者のサポート担当とすること。

(6) 前記の運用保守サポートには、危険な兆候を通知するメール通知及び月次セキュリティレポートの提供を含めること (UTMに限る。)

(7) その他セキュリティ機器の設定について本仕様書に定めのない事項及び疑義がある事項については、別途打ち合わせの上作業を行うこと。

4. ルーター

(1) ルーターの調達、設置及び設定を行うこと。なお、前記の「3. セキュリティ機器」に記載するUTMが、ルーター機能を有しており、その機能を代替できる場合は、ルーターの調達は不要とする。

(2) ルーターの仕様は、次のとおりとする。なお、参考機種 (富士通製) は次表のとおりとし、提

案する機種は、当該参考機種と同等又はそれ以上の品質及び機能を有する機種であり、出張修理が可能なメーカーの製品であること。

仕 様 内 容	数量
Si-R G110BプレインストールモデルV4	1

(3) インターネット接続が行えるよう設計及び設定を行うこと（原則として現行と同様の設定内容とする。）。

(4) その他ルーターの設定について本仕様書に定めのない事項及び疑義がある事項については、別途打ち合わせの上作業を行うこと。

(5) その他現在の設定・回線状況は、以下のとおりである。

ア 固定グローバル I P アドレスの利用：なし

イ ファイアウォールの設定：あり

ウ 回線の種別：光回線

5. サーバ用ウイルス対策ソフト

(1) サーバ用ウイルス対策ソフトの調達、各サーバ（サーバ更新対象外の kkssv サーバを含む。）へのインストール、各種設定等を行うこと。なお、サーバ用ウイルス対策ソフトの仕様は、次表のとおりとする。

仕 様 内 容	数量
NGAV機能、EDR機能及びMDR機能を備えたものであること。	※ 4

※ B U 装置が N A S の場合は 3 とする。

(2) セキュリティポリシーの変更、機器の不具合等に対応できるよう運用保守サポートを受けることができること。また、運用保守サポートの窓口及び提供は、落札者のサポート担当とすること。

(3) その他セキュリティ機器の設定について本仕様書に定めのない事項及び疑義がある事項については、別途打ち合わせの上作業を行うこと。

III 保守サービス

1. 保守サービスの実施

ネットワーク及びサーバ更新対象外である kkssv サーバを除く各サーバ運用に関する保守サービス（ルーターの運用・設定変更を含む。）を実施すること。

2. 保守サービスの概要

(1) ネットワーク及びサーバ運用に関する電話、F A X 又はメールによる Q & A 対応

(2) サーバを主体とした機器について、当協会が実施する設定変更等の作業に関する技術支援

(3) ネットワーク及びサーバ運用について、何らかの障害が発生した場合における当該障害の調査及び復旧に関する支援

(4) 前記（1）から（3）のサービス実施に際し、電話等でのトラブル解決、障害復旧等が不可能な場合における現地訪問による対応

3. 保守サービスの実施時間

保守サービスの実施時間は、当協会及び保守サービス実施会社の休日を除く通常営業日の 9 時から正午及び 1 3 時から 1 7 時（以下単に「通常営業日」という。）までとすること。ただし、保

守サービス実施会社の都合により、通常営業日に保守サービスを提供することができない場合は、割増料金の発生なく月額保守料金の範囲内において、休日又は正午から13時までの間に保守サービスを行うこと。また、緊急やむを得ない場合又は通常営業日に保守サービスを行うことにより、当協会の業務運営に著しい影響を生じさせる場合における保守対応も同様とすること。なお、この場合における保守サービスの費用については、原則として月額保守料金の範囲内とするが、必要に応じて別途打ち合わせにより決定する。

4. 保守サービスの対応限度時間

保守サービスの対応時間は、1月当たり8時間以上とすること。なお、限度時間を超えたときに別途費用が発生する場合は、当該限度時間及びその費用（1時間当たりの単価）体系等を記載すること。

5. 保守サービス対応の窓口

保守サービス対応の窓口を一本化するとともに、原則として保守サービスを行う担当者を設定すること。

6. 機密保持条項

保守サービス契約書に機密保持条項に関する規定を設けること。

7. その他

障害発生の理由が基幹業務システムの不具合によるものであることが明らかである場合を除き、何らかの障害が発生した場合は、当該保守サービスを請け負う会社が、当該障害の切り分けを行うこと。また、当該保守サービスを請け負う会社と基幹業務システムの保守会社は、障害復旧のためお互い協力して真摯にその解決に努めること。

IV データ消去

1. 現行サーバ（Jhias01、Jhias09 及び NICHINEN_SRV01）のデータ消去を協会担当者立ち会いのもとで行うとともに、当該消去に係る証明書を協会に提出すること。
2. 協会担当者の立ち会いが難しい場合は、前項の証明書とともに、実際に消去作業を行っている写真等データ消去が確実に行われたことが確認できる記録を協会に提出すること。
3. データ消去の方法は、データ抹消ソフトウェア（元のデータに異なるランダムなデータを複数回上書きすることによりデータを抹消するソフトウェア）を利用した一般的な方法により行うこと。

V 入札方法

1. 原則として電子入札とする。なお、詳細については、当協会ホームページの入札情報を参照のこと。
2. 入札見積書の提出期限は、令和7年11月14日（金）午後3時までとし、指定した日時を経過した場合は無効・失格とする。なお、提出方法は、電子メール（原則としてPDFファイルとする。）、郵送又は直接持参（厳封）のいずれかとし、あらかじめ見積書の提出方法を当協会に通知すること。
3. 見積書には、明細を添付すること。

4. リース会社提出用として、本入札用の見積書以外に、当協会が指示する見積書（リース契約の対象となる費用のみを記載したもの）を直ちに提出すること。

VI 落札会社の決定方法

「Ⅲ 保守サービス」の4に記載する保守サービスの対応限度時間及びこれを超えたときに発生する別途費用を考慮した上、原則として次の①から④までの合計の金額が最も安価であり、かつ、本仕様を満たしている会社を落札会社とする。

① 「Ⅰ 更新内容」に記載する費用

a 「1. サーバ機」に記載するハード、ソフトウェア、ライセンス及び保守費用（5年）並びに構築・設定に係る一切の費用

b 「2. サーバデータのバックアップ」に記載する次に掲げる費用

（a）BU装置のハード、ライセンス及び運用保守（5年）並びに構築・設定に係る一切の費用

（b）LTOドライブ又はRDXドライブのハード、ライセンス及び運用保守（5年）並びに構築・設定に係る一切の費用

（c）バックアップソフトの調達、インストール及び設定並びに利用・保守料（月額費用×60月）に係る一切の費用

c 「3. セキュリティ機器」に記載するハード、ライセンス、運用保守（5年）、設定等に係る一切の費用

d 「4. ルーター」に記載するハード及び設定に係る一切の費用

e 「5. サーバ用ウイルス対策ソフト」の調達、インストール及び設定並びに利用・保守料（月額費用×60月）に係る一切の費用

② 「Ⅲ 保守サービス」に記載する保守費用（月額費用×60月）

③ 「Ⅳ データ消去」に記載するデータ消去に係る一切の費用

④ その他搬入設置費用等上記①から③以外に費用が発生する場合はその費用

VII 納入場所及び納入等

1. 納入場所

神奈川県鎌倉市大船1751番地

一般財団法人日本燃焼機器検査協会 A館1階、2階又は3階（エレベーターあり）

2. 納入期限等

（1）納入品の納入期限は、原則として令和8年3月31日（火）とする。

（2）納入期限までに本格稼働できるようすべての設定作業を完了すること。

（3）更新に係る設定作業等は、令和8年1月19日（月）～令和8年3月31日（火）までの間に行うこと。

（4）協会の通常営業日に更新作業を実施する場合は、協会業務に支障を生じさせないよう十分に配慮するものとし、1日の作業時間は、原則として午前8時45分から午後5時までとすること。

- (5) サーバのデータ移行その他協会の通常営業日に作業ができないものについては、協会の休業日に作業を行うこと。この場合における作業時間は、原則として午前8時から午後5時までとすること。
- (6) その他具体的な作業日程は、別途打ち合わせとすること。

VIII その他

1. リース導入

当該入札に係る物件については、リースで導入することとし、リース会社については、別途入札を行い、これを決定する。ただし、データ消去に係る費用、運用保守サービスに係る費用その他毎月発生する費用等については、別途落札会社に直接支払うものとする。

2. 秘密保持

本業務の実施により知り得た協会のネットワーク情報その他一切の情報については、本業務を遂行する目的でのみ使用し、外部に漏らしてはならない。また、本業務終了後も同様とする。

IX 問い合わせ先（担当者）

総務部 小田 信一郎

〒247-0056 神奈川県鎌倉市大船1751番地

TEL：0467-45-6313 FAX：0467-45-6968

E-mail：oda@jhia.or.jp

以 上